



発行所 伊方町 愛媛県西宇和郡伊方町湊浦 796-03 ☎伊方局38-0211 編集課 総務課 印刷所 豊豫社 八幡浜市松柏 ☎22-0144

二面... 87町のできごと 伊方っ子まつり 角笛シルエット劇場公演 三面... 民話と伝説「大浜」 新しい家族 夫婦で子育て④ 四面... 歳時記「手帳」 伊方町奨学生募集

佐田岬半島道路 全線開通



ノボりをたて自転車パレードをする伊方中学生

12月4日に開通式

八幡浜市矢野町を起点として保内町・伊方町・瀬戸町を経由し、三崎町三崎に至る一般国道一九七号佐田岬半島道路(頂上線)の未開通部分五.一km(西宇和郡瀬戸町塩成・川之浜)が完成し、十二月四日、瀬戸町塩成の堀切大橋東詰めで全線開通式が行われました。

午前十時からの開通式では伊賀愛媛県知事らによるテープカットのあと、くす玉が割られ、ハトが放たれたあと牛鬼を先頭に三組の三世代夫婦を交えて出席者は堀切大橋の渡り初め。そのあと車八十台が三崎町に向けパレードし、同町で折り返したあと八幡浜市へパレードしました。

本町でも河内の国道沿いにおいて「祝国道一九七号佐田岬半島道路全線開通」の横断幕をかかげ、小学生による鼓笛演奏、保育所園児や老人クラブ会員などによる日の丸の小旗で開通を祝いました。また、各町五十名の中学生

による銀輪パレードも行われ、三崎町をスタートし、瀬戸町から引き継ぎを受けた町見中生徒、さらに伊方中生徒へとリレーされ保内町へ引き継ぎました。堀切大橋などの一般車輛の供用は午後一時から開始されました。

旧国道は佐田岬半島を縫うように海岸線を走り、最小幅三m、最小曲線半径五mの悪路で「行くな(一九七)酷道(国道)」と呼ばれ、八幡浜・三崎間が五十四・四kmもあり、車で一時間五十分もかかっていました。

佐田岬半島道路(頂上線)は、建設省が昭和四十一年度に調査を開始し、昭和四十七年度から本格的な工事に着手、昭和五十年十月大峠地区の第一回供用に始まり、昭和六十一年十月の伊方地区まで数次に分けて供用を行い、堀切大橋(延長二百m)を含む瀬戸地区(延長五.一km)の完成により着工以来十五年の歳月と総事業費約四百十億円をかけて全線開通しました。八幡浜・三崎間は、距離にして十五.五km短縮され三十八・九km

また、各町五十名の中学生



伊賀知事らによるテープカット

交通事故などの被害を受け 悩んでおられる方へ

こんなときこそ 検察審査会へ

交通事故で被害を受けたのに、加害者は処罰されなかった。つまり警察・検察庁で調べをしたが、不起訴処分になってしまった。

どうしてもなっとくできない。でも、これをだれにどうしてもらったらよいか判らない。

こんなときどうしたらよいでしょうか。検察審査会へご相談ください。交通事故だけでなく、詐欺とか窃盗、おどしなどすべての犯罪についても同様です。

費用は一切いらず、秘密は守られます。遠慮なく相談しましょう。

大洲検察審査会は、大洲市大洲845 松山地方裁判所大洲支部内 電話 0893-24-2038 にあります。

年末のごみ収集と戸籍

十二月二十九日から一月三日までの六日間は、年末年始につき役場の業務は休ませていただきます。ただし、ごみの収集と戸籍の一部受け付けは、次の要領で行います。

●死亡届と出生届

年末年始の戸籍業務は休みますが、死亡届および出生届などは役場、町見支所とも平日直者が受け付けます。特に死亡届は、火葬との関係がありますので早目に届出て下さい。届出の際には死亡診断書、印鑑、年並証書、保険証などが必要です。

●ごみの収集日程

年末のごみの

年末年始の収集日程

| 月 日 | 収集時間 | 収集地区 |
|-----------------------|-------------|--|
| 12月29日(火) | 7:00~ 8:00 | 湊浦・小中浦・中浦・川永田・伊方越・亀浦・二見・加周・田之浦・古屋敷・大成・鳥津 |
| | 12:00~13:00 | 奥・向・畑・須賀・久保・西 |
| 12月30日(水) | 7:00~ 8:00 | 伊方地区 |
| | 12:00~13:00 | 町見地区 |
| 12月31日から1月3日まで収集休みます。 | | |
| 1月4日(月) | 7:00~ 8:00 | 伊方地区 |
| | 12:00~13:00 | 町見地区 |

伊方っ子まつり 角笛シルエツト劇場公演

今年で五回目を迎えた伊方っ子まつり(主催伊方町・後援町保育所保護者会、今回は影絵劇「角笛シルエツト劇場」を十一月二十七日に町民会館四階大ホールで公演しました。参加者は町内七保育所の保育園児や保護者約五百五十名。午前十時から始まったこの日の公演は、北の海の小さな島に繰り広げられる人間と動物の交流を描いた「チロヌップのきつね」、ユーモアあふれる「こぶたのおやこの物語」「こぶたのマーチ」、楽しい歌のおさんぽ、うたと影絵のファンタジー「つのおぶえのうた」の三本でした。約二時間のあいだ、三つの画面のマルチスクリーン方式による美しい影絵劇に、園児たちは熱心に見入っていました。



劇団員にお礼の花束を贈る園児

無灯火自転車ダメ

町補導会が街頭指導



町青少年補導会(会長・尾崎洋一)では自転車通学者を(対象に、今年二回目の街頭指導(一)では自転車通学者を、導を大峠トンネル西側入口付

近で行いました。今回は、十二月十日夕方五時三十分から、伊方駐在所の協力で町補導員や、高校(八幡浜・八幡浜工業・川之石)、町内小中学校の生徒指導の先生らで、帰途途中の高校生の街頭指導にあたりました。この日は、一時間あまりに三十三台の自転車通学者があり、このうち無灯火が八台(うち四台はブレーキ等の不良)ありました。(昨年は三十一台のうち無灯火十七台)自転車も暗い場所では、ライトをつけなければならぬことになっています。無灯火の自転車は、危険がいっぱいです。補導会では、今後も定期的に街頭指導を行うこととしています。自転車に乗る人は、点検を忘れず交通ルールを守り、安全運転をしましょう。

三崎—八幡浜間駅伝競争大会

58チームが頂上線を力走



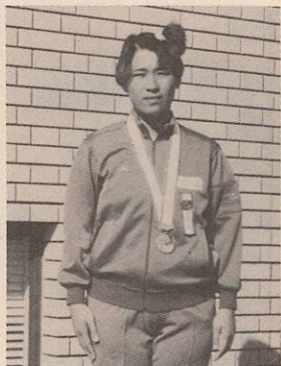
力走する竹内国彦選手

国道一九七号線の全線開通を記念して開催された三崎—八幡浜間駅伝競争大会が十一月二十九日、西宇和郡三崎町商工会前をスタート、八幡浜市役所前ゴールの片道コース四〇・一九七km(六区間)で行われました。参加チームは一般五チーム、クラブ四十五チーム、高校八チームの五十八チーム。午前十時半一斉にスタートした選手たちは、十二月四日の開通式を控えてきれいに整備された国道一九七号線を力走し健脚とチームワークを競いました。沿道には地元の人や応援団がならび、選手たちには盛んな拍手や声援を送りました。クラブの部に出場した本町の伊方体協チーム(宇都宮肇、水沼仁、宮脇良元、足利博文、竹内国彦、久保常治の六選手)も健闘しましたが、惜しくも上位入賞はなりませんでしたが、優勝チームは次のとおり。

- (一般の部) N.T.T. 二時間十二分四十四秒
- (クラブの部) 白杵市陸上競技協会A(大分県) 二時間一分三十九秒
- (高校の部) 吉田高校A 二時間七分五十七秒

全国身障者スポーツ大会で

田中さん銀メダル



十月十四日から二日間、沖繩県で開催された第二十三回全国身障者スポーツ大会(向一十九歳)が銀メダルを獲得しました。田中さんは、愛媛県代表選手十五人の一員として大会最終日の十五日にソフトボール投げに出場、自己新記録の二六・一mを投げ、見事銀メダルに輝きました。

'87 町のりかわり

| | | | | | |
|-------|------|---|-------|------|--|
| (一月) | 十五日 | 成人式を挙行、新成人六十九人が出席 | 中 | 旬 | 胃がん検診実施 千四百六十六人が受診(対象者四十歳以上) |
| (二月) | 三十一日 | 水ヶ浦小学校体育館完成 | (七月) | 十七日 | 独居老人に給食サービス開始(町内の六十九名に二ヶ月に二回) |
| (三月) | 六日 | 県議会議員高門嘉夫留氏(川永田)死去 | (八月) | 十五日 | 町消防団操法競技大会で第三分団(向)(小型ポンプ)、第十四分団(畑・須賀)(自動車ポンプ)が優勝 |
| (四月) | 十一日 | 第八回健康づくり推進大会を伊方町民会館で開催五百人が参加 | (九月) | 一日 | 改訂版「伊方町誌」発行 |
| (五月) | 十一日 | 第十七回町内一周駅伝大会開催 | (十月) | 一日 | 町社会福祉大会を町民会館で開催関係者約五百人出席 |
| (六月) | 二十日 | 河内チーム三連覇 | (十一月) | 二・三日 | 道徳教育研究大会(文部省指定)を伊方小で開催 |
| (七月) | 二十日 | 畑集会所が完成 | (十二月) | 四日 | 国道一九七号頂上線全線開通式 |
| (八月) | 二十日 | 消防団出初式を伊方中グラウンドで挙行 | | | |
| (九月) | 上旬 | 町と町選挙管理委員会が大量輸入問題で住民実態調査を実施 | | | |
| (十月) | 十七日 | 伊方・町見の両中学校で卒業式が行われ百三十一人集立つ | | | |
| (十一月) | 二十日 | 不燃物処理場が完成 | | | |
| (十二月) | 三十一日 | 九町配水池完成容量三百二十六m ³ | | | |
| (一月) | 一日 | 住民票や印鑑証明などの手数料が四年ぶりに改正 一件二百円に(旧百円) | | | |
| (二月) | 八日 | 町内八校の小中学校で入学式を挙 | | | |
| (三月) | 九日 | 行 新小学一年生百十八人、新中学一年生百二十八人が入学 | | | |
| (四月) | 九日 | 第三十七回自醸酒品評会で袋口清政さん(大浜)の川亀が優等一位 | | | |
| (五月) | 十二日 | 県議会議員に高門清彦氏(川永田)無投票初当選 | | | |
| (六月) | 二十六日 | 町長・町議会議員選挙投票日 町長に福田直吉氏、町議会議員に現職十四人、新人四人が当選。 | | | |
| (七月) | 七日 | 昭和六十二年度パソコン教室講座始まる | | | |
| (八月) | 十日 | 青年団相撲大会が湊浦の八幡神社境内で開催大浜青年団が優勝 | | | |
| (九月) | 十四日 | 臨時町議会が開かれ議長に梶田忠義氏(湊浦)、副議長に小泉久氏(川永田)を選出 | | | |
| (十月) | 十六日 | 九町診療所に有田茂医師(六十三歳)赴任 | | | |
| (十一月) | 十七日 | 胃がん検診実施 千四百六十六人が受診(対象者四十歳以上) | | | |
| (十二月) | 十七日 | 婦人(子宮がん)検診実施 五百八十五人が受診(対象者三十歳以上) | | | |
| (一月) | 十七日 | 独居老人に給食サービス開始(町内の六十九名に二ヶ月に二回) | | | |
| (二月) | 十七日 | 町消防団操法競技大会で第三分団(向)(小型ポンプ)、第十四分団(畑・須賀)(自動車ポンプ)が優勝 | | | |
| (三月) | 一日 | 改訂版「伊方町誌」発行 | | | |
| (四月) | 一日 | 町水道管理センター起工式 | | | |
| (五月) | 一日 | 町中浦集会所の建設始まる | | | |
| (六月) | 一日 | 第三十回伊方町小中学校陸上競技大会を伊方中グラウンドで開催 六種目に大会新記録 | | | |
| (七月) | 一日 | 肺がん検診実施 三百五十人が受診(対象者四十歳以上) | | | |
| (八月) | 一日 | 町社会福祉大会を町民会館で開催関係者約五百人出席 | | | |
| (九月) | 一日 | 伊方・町見両会場で町民運動会開催 | | | |
| (十月) | 一日 | 伊方原子力発電所三号機完成が三年間延期 電力需用ダウンにより運転開始時期を昭和六十七年三月から昭和七十年三月に変更 | | | |
| (十一月) | 二・三日 | 道徳教育研究大会(文部省指定)を伊方小で開催 | | | |
| (十二月) | 二・三日 | 道徳教育研究大会(文部省指定)を伊方小で開催 | | | |
| (一月) | 二・三日 | 道徳教育研究大会(文部省指定)を伊方小で開催 | | | |
| (二月) | 二・三日 | 道徳教育研究大会(文部省指定)を伊方小で開催 | | | |
| (三月) | 二・三日 | 道徳教育研究大会(文部省指定)を伊方小で開催 | | | |
| (四月) | 二・三日 | 道徳教育研究大会(文部省指定)を伊方小で開催 | | | |
| (五月) | 二・三日 | 道徳教育研究大会(文部省指定)を伊方小で開催 | | | |
| (六月) | 二・三日 | 道徳教育研究大会(文部省指定)を伊方小で開催 | | | |
| (七月) | 二・三日 | 道徳教育研究大会(文部省指定)を伊方小で開催 | | | |
| (八月) | 二・三日 | 道徳教育研究大会(文部省指定)を伊方小で開催 | | | |
| (九月) | 二・三日 | 道徳教育研究大会(文部省指定)を伊方小で開催 | | | |
| (十月) | 二・三日 | 道徳教育研究大会(文部省指定)を伊方小で開催 | | | |
| (十一月) | 二・三日 | 道徳教育研究大会(文部省指定)を伊方小で開催 | | | |
| (十二月) | 二・三日 | 道徳教育研究大会(文部省指定)を伊方小で開催 | | | |

歳時記

手帳

年末を控えて手帳売り場がにぎわっています。英米独仏など各国からの輸入物もあります。外国品では、日本の祝日がわからなくて困ると思いますが、日本向けにちゃんと入っているものもあります。そうでもないものには、祝日などのシールが用意されていました。

最近の流行はシステム式手帳。バインダーに、スケジュール、アドレス、カード入れなど何でもパッケージした部厚い手帳で、これも輸入品や国産がいろいろ出ています。なかには15万円もするものがあります。これは高級な革を使った特製品ですが、普通のものでも、1万円以上のものが目立ちました。

もうひとつの新顔は電子式の手帳。漢字でメモ書きができ、100年以上先までのスケジュールや、1,500人分の電話番号を記憶するなどの機能を持ったものも出ています。また、声で記憶する電子式の手帳もあります。手帳の世界も様変わりですね。

最近の子供や主婦も、スケジュール手帳を持つようになりました。世の中ますます多忙になりそうです。

ところで年末年始には事故や犯罪、特に金融機関関係の犯罪が増加します。銀行などの金融機関を利用する時には、次のようなことに注意しましょう。

- ◎お金をおろして金融機関から出たとき、後を追って来て「支払いを間違えました」などと声をかけられても信用しない。その場合は窓口に戻って確認する。
- ◎銀行などに行く時にはなるべく1人でなく複数で。
- ◎大金は持ち歩かない。お金を引き出したら寄り道しないで帰る。



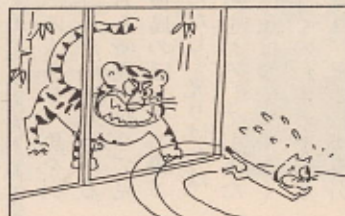
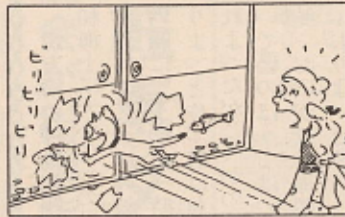
手帳

愛媛県伊予郡砥部町川井一四三にお住いの清水キク子さん(湊浦出身)から一万円。西宇和郡三崎町井之浦にお住いの池上馨さん(古屋敷出身)から一万円。それぞれ広報編集費用にご寄付いただきました。紙上から厚くお礼申し上げます。

お礼

ざわやか君

西村 宗



町教育委員会が定める「伊方町奨学生願書」に必要な事項を記入し、直前に卒業した又は在学している学校長の「推薦書」を添えて提出してください。出願用紙は、伊方・町見両中学校、川之石高校、八幡浜高校、八幡浜工業高校又は町教育委員会にあります。

選考後、決定して三月末日までに通知します。ただし、不採用分については通知いたしません。

人の動き

昭和62年11月1日現在 世帯数2,657戸(+3戸)

伊方町教育委員会では、昭和六十三年度「町奨学生」を募集します。昭和六十三年四月に高校・大学等へ入学を予定している方で奨学金の貸与を希望されます方は、昭和六十三年一月末日までに、次の要領で申し込んでください。

○学校教育法に規定する高等学校(盲学校・聾学校、養護学校の高等部を含む)、高等専門学校、大学及び愛媛県立農業大学校に昭和六十三年四月に入学(新一年生)を予定している人。

○人物、学業ともにすぐれ、健康であり、学資金の負担が困難であると認められる人。

○奨学金は無利子。返還は、貸与が終了して六ヶ月を経た後、年賦の方法により、十五年以内に返還してください。

○奨学金は無利子。返還は、貸与が終了して六ヶ月を経た後、年賦の方法により、十五年以内に返還してください。

伊方町奨学生募集

希望者は1月末日までに

町内の交通事故

| |
|--------------|
| 12月1日現在 |
| 発生件数.....49件 |
| (11月.....4件) |
| 負傷者数.....12件 |
| (11月.....0人) |

伊予の道 無事故でつなごう。ゆくゆく年をスローガンに十二月二十一日(月)から一月十日(日)までの二十一日間、年末年始の交通安全県民運動が行われます。

えんむすび

昭和62年10月1日 - 10月31日

おくやみ

昭和62年10月1日 - 10月31日

おくやみ

昭和62年10月1日 - 10月31日

婦人週間40周年記念作文募集

労働省婦人局では昭和六十三年度で第四十回を迎える婦人週間を記念して作文募集を行います。

性別・住所・学校名、学年を明記して下さい。

作文の内容 女性の能力や役割について固定的に考えることを改善するよう内容の作文

募集先 松山市辻町二一三六 愛媛県少年室

お誕生おめでとう

よい子に育ってください 昭和62年10月1日 - 10月31日

募集の方法 四百字詰原稿用紙を五枚以内。題・氏名・生年月日

募集作品の著作権は主催者に属します。応募原稿は返しません。